



縄文時代晚期の上尾駒(1)遺跡出土の鼻曲がり土面と六ヶ所村立郷土館イメージキャラクター(magirin)



縄文美子  
(発見された人骨(レプリカ))

敵の襲来に備えた防御性集落の特徴があるほか、大陸の影響を受けた館や中世の城館（目代館）などもあり、非常に興味深いです。

私は、この海岸線にある滝の尻大滝、タタミ岩（安山岩板状節理）やぼつとあげ（潮吹き穴）などを総称して「六ヶ所ジオパーク」と名付けています。内には見どころがたくさんあります。

私は、この海岸線にある滝の尻大滝、タタミ岩（安山岩板状節理）やぼつとあげ（潮吹き穴）などを総称して「六ヶ所ジオパーク」と名付けています。内には見どころがたくさんあります。

A 第3弾は、「六ヶ所村にもあつた山城」です。現在、村内に11世紀から12世紀にかけてあつた館や山城を調べています。

A 第3弾は、「六ヶ所村にもあつた山城」です。現在、村内に11世紀から12世紀にかけてあつた館や山城を調べています。

Q 第3弾のテーマは何でしょうか。

私は、この海岸線にある滝の尻大滝、タタミ岩（安山岩板状節理）やぼつとあげ（潮吹き穴）などを総称して「六ヶ所ジオパーク」と名付けているほど、村内には見どころがたくさんあります。

私は、この海岸線にある滝の尻大滝、タタミ岩（安山岩板状節理）やぼつとあげ（潮吹き穴）などを総称して「六ヶ所ジオパーク」と名付けているほど、村内には見どころがたくさんあります。

私は、この海岸線にある滝の尻大滝、タタミ岩（安山岩板状節理）やぼつとあげ（潮吹き穴）などを総称して「六ヶ所ジオパーク」と名付けているほど、村内には見どころがたくさんあります。

私は、この海岸線にある滝の尻大滝、タタミ岩（安山岩板状節理）やぼつとあげ（潮吹き穴）などを総称して「六ヶ所ジオパーク」と名付けているほど、村内には見どころがたくさんあります。

Q

ミステリー要素もあり、知的好奇心も満たされるとこ

加したいです！

また、歴史散歩第2弾（6／21）は、募集定員がすぐいっぱいになつたと

すごい人気ですね。

部北部）あつた森林鉄道を使つて、ディーゼル機関車を動力に、樹齢200年から250年のヒバを切り出してトロッコに乗せて運んでいました。森林鉄道は昭和39年度に廃止され、その後トラック輸送になりました。

山をはじめ、六ヶ所村の山岳部は国有地で、「蟻渡野」と呼ばれていた広大な丘陵地帯は、御料地だつたという証拠です。集落

トラック輸送になりました。

◆ディーゼル機関車(当時の写真)

A

明治32年頃に、初代御料局測量課長神足勝記らが設置測量したようです。ほんてん

山をはじめ、六ヶ所村の山岳部は国有地で、「蟻渡野」と呼ばれていた広大な丘陵地帯は、御料地だつたという証拠です。集落

部分が民有地。家の軒下まで国

有地だつたという歴史がありました。

調べると、いろんな事・物がつながりますね。



▲レール跡

Q 山岳部…と言えば、2年前に六ヶ所村山岳会が整備して開山した「ほんてん山」の頂上に、「御料局三角点」と書かれた三角点があります。頂上には大体、●●山頂」という木柱だけなのに、「御料局」と書いてあります。何だろう？と思つたんですが…？

A 郡土館を出発して、尾駿川沿いの林道を進み、貯木場跡地では枕木や事務所跡を見学します。そして、橋台跡、廃棄されたレール、丸菅橋などを進み、ヒバの集積場まで、ヒバやブナ、スギ林の森林浴をしながら、村の産業遺産に思いをはせる往復約2時間の散歩です。

Q

とても興味深いですね。歴史散歩では、どんなものを見ることができますか？

Q 山岳部…と言えば、2年前に六ヶ所村山岳会が整備して開山した「ほんてん山」の頂上に、「御料局三角点」と書かれた三角点があります。頂上には大体、●●山頂」という木柱だけなのに、「御料局」と書いてあります。何だろう？と思つたんですが…？

A 郡土館を出発して、尾駿川沿いの林道を進み、貯木場跡地では枕木や事務所跡を見学します。そして、橋台跡、廃棄されたレール、丸菅橋などを進み、ヒバの集積場まで、ヒバやブナ、スギ林の森林浴をしながら、村の産業遺産に思いをはせる往復約2時間の散歩です。

A

明治32年頃に、初代御料局測量課長神足勝記らが設置測量したようです。ほんてん

山をはじめ、六ヶ所村の山岳部は国有地で、「蟻渡野」と呼ばれていた広大な丘陵地帯は、御料地だつたという証拠です。集落

部分が民有地。家の軒下まで国

有地だつたという歴史がありました。

## 六ヶ所村立郷土館



営業案内  
●開館時間 午前9:00～午後4:00  
●休館日 月曜日・祝祭日の翌日、年末年始(12月27日～1月4日)  
●入場料 無料  
●所在地 青森県上北郡六ヶ所村大字尾駒字野附535番地  
●連絡先 TEL.0175-72-2306

豊かな自然環境に恵まれた六ヶ所村には、先史時代から多くの遺跡があります。昭和40年代に入って、むつ小川原開発などの大規模開発に伴い発掘調査が行われ、縄文時代草創期から晩期までの多くの貴重な遺跡と遺物が発見され、その保護と保存に関心がもたれるようになりました。

郷土の姿を正しく理解し、村民の憩いの場として活用していただくことを願い、考古・自然・歴史・民俗にわたる常設展示を行っています。展示は、これらの発掘成果に基づき、縄文時代から弥生・平安時代の土器や遺物を時代別に展示し、ジオラマを使って、縄文時代の狩猟や竪穴住居での生活の様子を復元しています。

民俗資料では、本州の最北の丸木舟を使ったアワビ漁の様子を復元しているのをはじめ、漁業、農業、林業、衣食住に関する資料を紹介しています。

展示のほかに、企画展やものづくり体験学習の開催、ふるさとの魅力を再発見するふるさと歴史散歩等の事業を行っています。村民をはじめ来館者に喜ばれる博物館活動を目指しています。